

育成を目指す資質・能力

拡大図や縮図を活用して、実際に測定しにくい長さの求め方を考えることができる。

ICT活用のポイント

端末を利用し、地図から実際の長さを求めるプログラムを作成することで、計算方法の理解を深めさせる。

地図アプリを使い距離測定を行い、どのような仕組みで距離を測定しているのかを予想する。

教科書の問題を解いていく中で、縮図上の長さから実際の長さを求める方法を確認する。

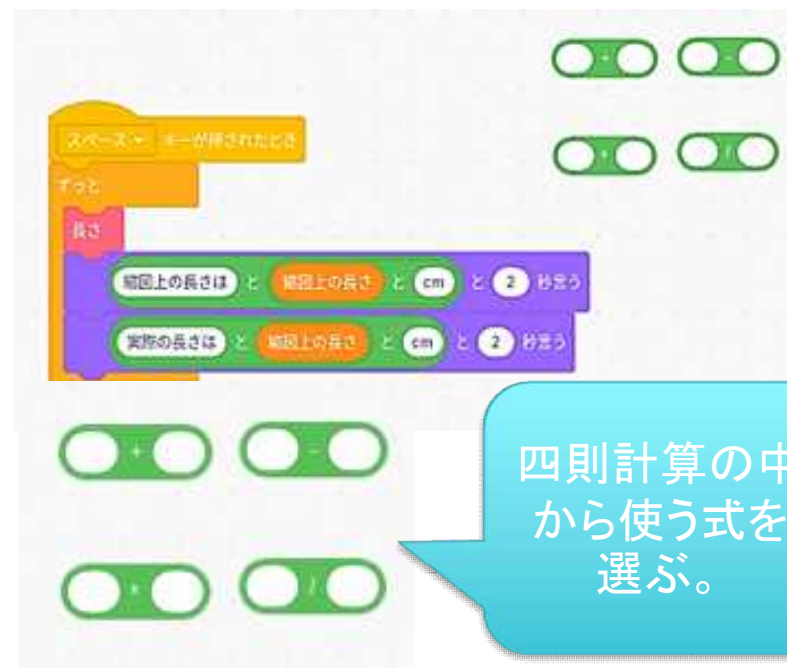
学習のまとめを行う。

学習を振り返り、Scratchのプログラムの修正点を探し、プログラムを完成させる。

事例の概要

○Scratchを使い、縮図上から実際の長さを求めるプログラムを作成する。

- 1 プログラムを確認する。
- 2 修正すべきポイントを探す。
- 3 プログラムの修正を行う。
(4つの式から適切なものを選び、数値を入力する。)
- 4 プログラムの動作を確認する。



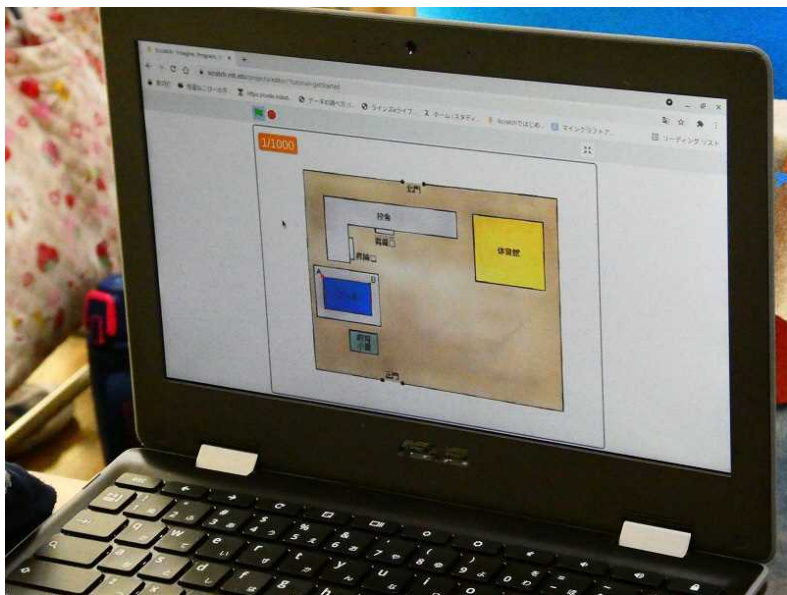
四則計算の中から使う式を選ぶ。

【算数科・小6・「拡大図と縮図」】②

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



○教科書で学習した内容を、再度プログラムとしてアウトプットさせることで学習内容をさらに理解することができる。

○低位の児童向けに、より簡易化したプログラムを作成し、学習内容の理解や端末の操作等の支援を行う。

○本時だけでなく、単元のまとめなどでプログラムを用いて学習したことを表現する機会を確保する。

○児童側のメリット

- ・学んだことが身の回りで使われていることに気付くことができる。
- ・正しいプログラムになっているかを試行錯誤することができ、正解かどうかの確認をすぐに行うことができる。
- ・学習したことが利用でき、学習意欲が向上する。
- ・式をプログラミング言語で表すことで、縮図の意味を再確認することができる。

○教師側のメリット

当該プログラムがあれば、誰でもScratchを使ったプログラミングを用いた学習を行うことができる。

【活用したソフトや機能】

- ・Scratchのブラウザ版を使用